



受付日：平成30年11月5日  
受付番号：HP18-KT101

## 接合部性能試験成績証



東京都港区芝5-33-7  
徳栄ビル本館4階  
ハウスプラス確認検査株式会社  
代表取締役社長 吉田 正司

試験結果は以下のとおりであることを証明する。  
平成30年12月20日

1. 接合金物名称	片寄せ座金付きボルト30-80×95
2. 試験依頼者	株式会社 カナイ 〒340-0833 埼玉県八潮市西袋717-1
3. 目的	当該座金付きボルトと木材の接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。
4. 試験内容	当該座金付きボルトの木材に対する「めり込み量」及びボルト部の「伸び量」等を測定するための引張試験であり、試験は木材の中心にボルトを通し、ボルトに引張力を与え、座金部を木材にめり込ませる試験とした。詳細は、接合部性能試験報告書第4章に示す。
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「片寄せ座金付きボルト30-80×95」</p> <p>材 質：板部；Q235B(GB/T3274-2007)*1 ボルト部；Q195(GB/T701-2008)*2</p> <p>寸 法：板部；80mm×95mm 厚さt=9mm ボルト用孔φ17mm 座金の中心から長辺方向へ17.5mmの位置にボルトが取り付け(報告書図3.2参照) ボルト部；φ16mm L=540mm ねじ部 M16</p> <p>表面処理：Ep-Fe/Zn 8/CM 2 (JIS H 8610およびJIS H 8625)*3</p> <p>その他：板部とボルト部の接合 隅肉溶接</p> <p>2) 軸組材料</p> <p>横架材：105mm×105mm×600mm スギ 無等級材 含水率：8.0~11.5% 全乾密度：0.40~0.45g/cm<sup>3</sup></p> <p>*1 SPHC(JIS G 3131)またはSPCC(JIS G 3141)相当の炭素鋼 *2 強度区分4.6または4.8(JIS B 1051)を満足する炭素鋼 *3 電気亜鉛めっきEp-Fe/Zn 8/CM 2(JIS H 8610およびJIS H 8625)以上の防錆処理</p>
6. 試験条件等	横架材は、ボルト中心から、木口方向に150mm間隔であけてM16六角ボルト、ナット及び角座金(100mm×100mm、t=15)で強固に繋結した。 加力前の初期状態はボルト部を木材の孔(φ18mm)に通し、座金部と横架材を密着させた状態とした。このとき、ボルトの初期導入張力はM16ナットを手締めする程度とした。引張加力は加力側のねじ部にM16ナットを取付けた位置で行った。
7. 試験結果	短期基準接合耐力 <b>35.3 kN</b> (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜第二試験所：神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番
9. 試験実施日	平成30年11月8日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 上杉 義則 道場 信義 宇山 善博

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。